

令和 7 年 12 月 1 日
消 防 庁**第 7 回緊急消防援助隊全国合同訓練**

緊急消防援助隊は、平成 7 年の阪神・淡路大震災を契機に創設され、大規模災害に対し、これまでに 47 回の出動実績があります。

消防庁では、緊急消防援助隊の技術の向上及び関係機関との連携活動能力の向上を図ることを目的に、概ね 5 年ごとに全国の緊急消防援助隊が一堂に集結して行う全国合同訓練を実施しています。

第 7 回目となる今回の訓練は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震を想定し、実動訓練としては初めて、北海道及び宮城県の 2 か所で開催する予定です。

1 実施日及び開催地（予定）

訓練内容	開催日	開催地
図上訓練	令和 8 年 7 月 30 日（木）	消防庁・北海道・青森県 岩手県・宮城県で一斉開催
実動訓練（総合）	令和 8 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）	宮城県
実動訓練（進出・宿営等）	令和 8 年 12 月 17 日（木）・18 日（金）	北海道

2 訓練概要**実動訓練（総合）：宮城県**

- （1）全国各地から緊急消防援助隊が参加。
また、自衛隊・警察・海上保安庁・DMA T 等の関係機関が参加する訓練を予定。
- （2）第 5 期基本計画で新設した「情報統括支援隊」、「安全管理部隊」、「救急特別編成部隊」の実効性の検証等。
- （3）各機関が保有する情報共有システムやドローンなどの資機材を用いて情報を共有し、安全で効果的な活動訓練の実施。



全国からの部隊進出



ヘリコプターとの連携



倒壊建物からの救出

実動訓練（進出・宿営等）：北海道

- （１）民間航空機、フェリー、鉄道による部隊進出のほか、関係機関と連携したあらゆる手段を用いた部隊進出の検証。
- （２）厳寒期における継続的な活動を目的とした宿営訓練。



厳寒期の部隊進出



フェリーによる進出



進出先での宿営

※本資料の内容については検討・準備段階のものであり、今後の調整により変更があり得ます。

〔参考 過去の全国合同訓練の開催概要〕

	開催日	開催地	参加規模
第１回全国合同訓練	平成７年１１月２８、２９日	東京都	参加消防本部：９８本部 隊員数：１，５００名
第２回全国合同訓練	平成１２年１０月２３、２４日	東京都	参加消防本部：１４８本部 隊数等：２０６隊 １，９２２名
第３回全国合同訓練	平成１７年６月１０、１１日	静岡県	参加消防本部：２０６本部 隊数等：３８６隊 １，９５３名
第４回全国合同訓練	図上訓練 平成２２年１月２８、２９日	愛知県、和歌山県、徳島県	参加人員：３７０名
	実動訓練 平成２２年６月４、５日	愛知県	参加消防本部：２２３本部 隊数等：４１１隊 ２，１３８名
第５回全国合同訓練	平成２７年１１月１３、１４日	千葉県	参加消防本部：２８０本部 隊数等：５８２隊 ２，３６１名
第６回全国合同訓練	図上訓練 令和４年７月２７日	静岡県、和歌山県、高知県 宮崎県	参加人員：１３９４名
	実動訓練 令和４年１１月１２、１３日	静岡県	参加消防本部：３３５本部 隊数等：６７８隊 ２，７７６名

総務省消防庁ホームページ（「緊急消防援助隊」ホームページ）

URL：<https://www.fdma.go.jp/mission/prepare/rescue/rescue003.html>



二次元コード



消防庁：国民保護・防災部 防災課 広域応援室
担当者：上田課長補佐・藤江係長・鈴木事務官、谷川事務官
連絡先：０３-５２５３-７５６９